

令和8年9月29日(火)



旭中中学校だより

＜学校の教育目標＞

- 学び続ける生徒
- 思いやりのある生徒
- やりぬく生徒
- たくましい生徒

「目標・ねらい」があって「活動」がある

校長 久米達夫

9月も末になると、日差しもずいぶん柔らかく、学校内教室もずいぶん過ごしやすくなり、クーラーの季節も終わりとなりました。そして令和8年度も前期が終了し、この度通知表が渡されます。今回の通知表では、生徒一人ひとりが前期頑張ってきたことを、「所見」として担任の温かい言葉で綴っております。ぜひ保護者の皆様もじっくりとお読みいただき、お子様の成長を確認していただけると幸いです。

さて、10月2日(金)、旭中最大の行事である「旭中祭」が開催されます。この旭中祭に向けて、全校生徒が夏休み前から計画を立て、少しずつ準備に取り組んでまいりました。今年度も、全校制作・装飾・ステージの各部門を1～3年生の縦割り班で取り組んでまいりました。特に3年生は活動の中心的存在として活躍しております。その活動する姿を下級生が引き継いでもらうことを期待しております。

クラスごと取り組む「合唱」についても、最初は少しまとまりに欠ける活動のように見受けられましたが、クラスの合唱委員を中心として少しずつまとまり、素敵なハーモニーを響かせてくれるようになりました。

毎年、この旭中祭について思うことがあります。それは、「目標やねらい」を明確にしているチームや学級が素晴らしい発表につながっているということです。合唱であれば、曲選びの段階で「この歌詞がうちのクラスにぴったりだな。観客にどう聞かせようか。」と考えたと思います。歌詞を読みこんで、「どう表現しようか、聞いている人にどんな気持ちになってもらいたいのか」、そこが「目標やねらい」になるはずです。それをクラスみんなで共有し、一人ひとりがその目標の達成に向けて努力する、それが聞いている人に感動を与える合唱になるのだと考えます。

成功するか、失敗するかばかりを気にするのではなく、「目標に向けて努力した姿」はきっと形となって表れてくるものだと思います。

保護者・地域の皆様には、当日多くの方にご来場いただき、生徒たちの活躍する姿を見ていただけると幸いです。更に旭中の生徒たちが旭中祭後も、自信をもって学校生活や家庭生活を送っていけるよう、生徒たちの頑張りに対して、温かい励ましの言葉をかけていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。